

平成31年度（2019年度）金沢大学大学院法務研究科 入学試験問題

【A日程】法律専門科目試験

民法 出題の意図

請負契約に関する事案で、注文者と請負人との間の法的関係について、受験者の担保法や契約法の理解を問う問題である。

設問 1 は、請負代金の支払いを担保する留置権の効力の及ぶ範囲について、判例（最判平成 3 年 7 月 16 日民集 45 卷 6 号 1101 頁）の趣旨を踏まえて、甲丙の主張の是非を論じることを求めている。

設問 2 は、請負人（下請負人）が建物した建物の所有権の帰属について、(1) 材料を提供して工事を施工した下請負人に所有権が帰属するのか、(2) 元請負契約に所有権帰属に関する特約がある場合に、下請負人はそれに拘束されるのかといった問題点に関して、判例（最判平成 5 年 10 月 19 日民集 47 卷 8 号 5061 頁）の趣旨を踏まえた論理の展開を求めている。